

職員による自己評価

保護者による評価

A環境面

- ・学習や手作業が出来る部屋と体を動かして遊べる部屋に分かれているので目的に合う場所を選んで過ごせる
- ・トイレへの段差は必ず介助しスリッパへの履き替えを配慮している

B児童への支援内容

- ・計画書に基づき個別に支援できている
- ・日々のプログラムは集団と個別をわけて対応している

C関係機関との連携

- ・西区放デイ連絡協議会に参加し他事業所との情報交換を行っている
- ・学校、家庭と情報共有し心身の状態や宿題等の伝達ができている

D保護者への説明責任・信頼関係

- ・年2～3回の面談実施
- ・連絡帳・送迎時に情報共有
- ・

E非常対応

- ・西区地域自立支援協議会の防災会議に参加し、周囲の事業所と連携を取り災害時の情報共有の環境を整えている

A環境面

- ・十分なスペースの確保ができている
- ・クールダウンスペースが確保されている
- ・職員の専門性は不明
- ・職員の配置数は妥当である

B児童への支援内容

- ・活動プログラムが充実している
- ・集団の中での個別対応が手厚い
- ・障害のない子どもと活動する機会はない

C事業所からの情報発信

- ・面談や日々の連絡帳で理解している
- ・お迎え時や送迎時の報告で概ね理解できている
- ・年間行事予定などの情報発信がない
- ・保護者会など保護者同士の情報交換の場がない
- ・保護者会は必要と思わない

D非常対応

- ・下校途中や送迎時に緊急事態が発生した場合の連絡方法が不安
- ・避難訓練が行われているか不明

事業所内での分析

【共通点】

- ・個々のニーズに合ったスペースの確保ができている
- ・個々の特性を理解し個別に対応できている
- ・学校・家庭との情報の共有ができている
- ・活動プログラムが充実している

【相違点】

- ・緊急時対応マニュアルの周知
- ・避難訓練の内容の報告
- ・自力通所の子どもの緊急時の対応

分析・検討してみて…

### 事業所の強み

- ・ 個々のニーズに合った部屋が分かれている
- ・ 活動プログラムが多様
- ・ 実務経験が豊富にあり様々なプログラムに対応できる支援員が多数
- ・ 子どもが通所を楽しみにしている

### 事業所の改善点

- ・ 年間行事予定など先を見据えた計画を立て家庭へ発信する
- ・ 防災対策の発信
- ・ 職員の更なるスキルアップ

### 事業所の改善への取り組み

- ・ 研修等に積極的に参加し職員ひとりひとりの資質の向上に努める
- ・ 活動概要や行事予定、連絡体制の情報を家庭に発信
- ・ 災害に応じた対策の発信
- ・ 支援員、子どもを含めた事業所全体で災害に対する認識を高め、災害に備える

～自己評価を行っての事業所としての感想など～

様々な情報を適宜に発信して行くことが一層の信頼関係を築くことであり安全に安心して過ごせる場所としても必要であると思いました。